一般社団法人全国専門学校情報教育協会（研修委員会）
令和7年度　研修ニーズアンケート
理事長・校長

●調査時期
令和7年5月13日～令和7年5月30日

●発送数　63 件（校）

●回答数　18 件

●協力校数　18 校

●回答率　28.6 ％

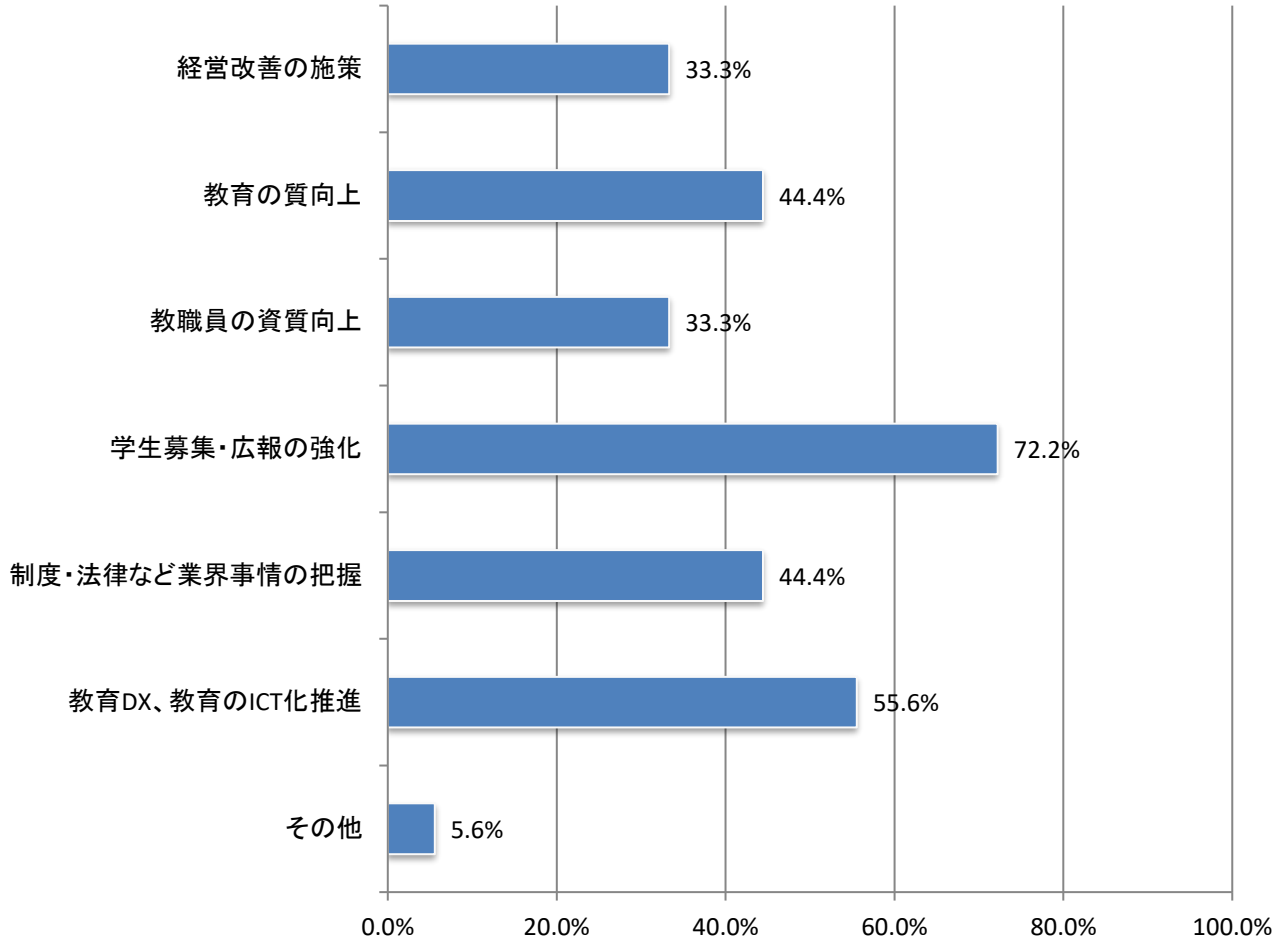
令和7年度　研修ニーズアンケート【理事長・校長】

学校経営上の課題として、緊急性が高いと感じているものに〇を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	経営改善の施策	6	33.3%
2	教育の質向上	8	44.4%
3	教職員の資質向上	6	33.3%
4	学生募集・広報の強化	13	72.2%
5	制度・法律など業界事情の把握	8	44.4%
6	教育DX、教育のICT化推進	10	55.6%
7	その他	1	5.6%
	合計	52	－

※%の母数は回答者数（＝18）、複数回答

その他・ 単位制移行について具体的な手順が知りたいです。



学校経営上の課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

区分	研修テーマ	内容（概略で結構です）	形式	対象	日数	実施時期
経営改善の施策	学校マネジメント力向上の基本講習等	学校管理者・管理職を対象とした、学校内外に関わるマーケットやマネジメント基本方法を学べる基礎講座。管理職以上で今後必要となる経営力を学べる内容。	セミナー，講義	管理職，経営者	1日（5時間～8時間程度）	
経営改善の施策	少子化に向けての学校法人経営	少子化に向けての学校法人経営	セミナー	教員，職員，管理職，経営者	1日（5時間～8時間程度）	８月
経営改善の施策	選ばれる専門学校として行うべき教育とそれを測る指標	今こそ高等教育の中で専門学校教育がどうあるべきかを突き詰めて考え直すべきかと考えている。大学と専門学校の境界があいまいで、専門学校としての特徴を明確にすべきかと考えている。その参考になる制度上や業界の動向などを分かりやすく講義形式でご教授いただきたい。	セミナー	教員，職員	半日（1時間～4時間程度）	8月
経営改善の施策	管理職の資質向上のための研修					
教育の質向上	学生支援の強化	学生のメンタルヘルスや学習支援の重要性を理解し、具体的な支援方法を学ぶ	講義とグループディスカッションを組み合わせた形式	教員	1日（5時間～8時間程度）	3月
教職員の資質向上	教職員研修・管理職研修	動画研修サイトの紹介、研修プログラムの概要、ICT教材の活用方法など	セミナー，講義	教員，管理職	1日（5時間～8時間程度）	8月、１２月、１月
教職員の資質向上	新技術導入のための知識・技術習得研修					
学生募集・広報の強化	学生募集について	どうしたら学生を集められるか	セミナー，講義	職員，管理職，経営者	1日（5時間～8時間程度）	いつでも
学生募集・広報の強化	募集に有効なSNS・OCの運営	SNSの活用とOC告知・運営	セミナー	教員，職員，管理職	1日（5時間～8時間程度）	8月・2月

区分	研修テーマ	内容（概略で結構です）	形式	対象	日数	実施時期
学生募集・広報の強化	SNS運用	学校の広報ツールとしてのSNS運用について	セミナー	教員，職員	半日（1時間～4時間程度）	
学生募集・広報の強化	高校生の意識調査	進学に関する意識や傾向、進学先で重要視していること等の情報	セミナー	教員，職員，管理職，経営者	半日（1時間～4時間程度）	
学生募集・広報の強化	広報戦略セミナー	これからの効果的な広報戦略について	セミナー	管理職	半日（1時間～4時間程度）	8月から9月初旬
学生募集・広報の強化	中等教育における教科情報の内容	学習指導要領の変更に伴う教科情報の内容が変化しており、現場の状況を知ることで専門学校での学びの在り方を検討する。	セミナー，講義	教員	半日（1時間～4時間程度）	
学生募集・広報の強化	マーケティング戦略の強化	学校のブランド力を高めるためのマーケティング手法を学び、入学者数の増加を図る	セミナー形式で、専門家・実務家を招いての講義	広報担当者・事務職員	1日（5時間～8時間程度）	7月
制度・法律など業界事情の把握	単位制移行について	単位制移行の詳細。特に授業時間数から単位数へのコマ数換算方法。	セミナー	教員，職員，管理職，経営者	半日（1時間～4時間程度）	できるだけ早く
制度・法律など業界事情の把握	行政主導による専修学校に対する施策等のセミナー	情報収集を目的としたセミナー	セミナー	管理職，経営者	半日（1時間～4時間程度）	特になし
制度・法律など業界事情の把握	単位制による職業教育の在り方	時間制から単位制に移行する中で、大学教育とは異なる職業教育の在り方を考える	セミナー	教員，職員，管理職	半日（1時間～4時間程度）	夏季休暇期間（8～９月）など
制度・法律など業界事情の把握	新制度・法改正に対応するための研修					

区分	研修テーマ	内容（概略で結構です）	形式	対象	日数	実施時期
制度・法律など業界事情の把握	改正学校教育法	第三者評価等制度の解釈や取り組みへの段取りなど	セミナー	教員，職員，管理職，経営者	半日（1時間～4時間程度）	
制度・法律など業界事情の把握	単位制への移行について	単位制へのスムーズな移行方法ならびに期待される効果について	セミナー	管理職	半日（1時間～4時間程度）	8月から9月初旬
教育DX、教育のICT化推進	生成AIの活用	生成AIの具体的活用事例の紹介（教務部門、事務部門）	セミナー，講義	教員，職員，管理職	半日（1時間～4時間程度）	夏期、春期などの学校長期休業期間
教育DX、教育のICT化推進	生成AIの授業への導入	生成AIの授業への導入事例紹介	セミナー	教員，職員，管理職，経営者	半日（1時間～4時間程度）	
教育DX、教育のICT化推進	生成AIのリスクと利活用について	教育現場としての生成AIのリスク回避ならびに教育や業務での活かし方について	セミナー	管理職	1日（5時間～8時間程度）	8月から9月初旬
教育DX、教育のICT化推進	専門学校教職員の為の生成AI活用	教職員の業務効率化をはかる為の生成AI活用事例	セミナー，講義，実習	教員，職員	1日（5時間～8時間程度）	8月～11月
教育DX、教育のICT化推進	デジタル化とIT活用	教育現場におけるデジタル技術の活用方法を学び、効率的な運営や教育の質向上を目指す	実践的なワークショップ	教員，職員	2日間	8月
教育DX、教育のICT化推進	教育DX化やICTに関わる講座	現在の教育現場のDX・ICTの主流を学びながら、今後5年、10年後に必要とされる教育現場管理や施設などの先見的な部分も含めた内容	セミナー，講義	教員，職員，管理職	1日（5時間～8時間程度）	

職業実践専門課程の設置・運営について、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- 地方において情報関係の会社が少なく、あっても下請けのためインターンシップを受けにくい（例：学生にうちの仕事をさせるのかとクレームが入る等）
- 様式が毎年少しずつ変わり、直前に送られてくるため、事前準備が難しい。
- シラバス管理、コマシラバス作成
- 職実認定した学科への一般の方の認識が低いため、取得学科と未取得の学科の差別化ができていない。職業実践専門課程の認定学科の優位性がうまく伝えられていない。
- 学科の統廃合・再編などに伴う職業実践専修課程の取り消し、業界経験者の教員確保
- 新規教員の採用
- 職業実践認定後の学科の改編に伴う新規申請
- 連携企業の確保
- 管理職のスキルアップ
- 認定制度のメリットの可視化が不十分なこと
- 学校や卒業生が認定を通じて十分なメリットを享受できていない状態

生成AIの授業への活用、学校・教務業務への活用、学生の利用等について、現在の取組状況、抱えている問題や課題等がございましたらご記入ください。

- 職員の取り組み姿勢、（必要だと感じていない職員が多い）
- 教職員にCopirotの使い方を講習し、各自利用している。学生にはゲーム素材作成に活用予定。
- 授業スライドの作成にAIが活用できると新人教員の精神的負担が軽減されると思うが、AIの使い分けについて十分に検討できていない
- 生成AIを活用できていないので、基礎的な研修を企画してほしい
- 事例が少ない
- 若年層の学生より指導教員がAIを含む、電子に関わる知識概念が低い。
- 一部の教職員による使用にとどまっている
- 情報技術系の学校のため、AI分野の学科を設置しており、機械学習やディープラーニング、統計学などの講義以外にもモデルを使用したチューニングなどの実習等において科目教授している。
- 学校としての指針を掲げると共に、各学科でガイドラインを作成している。技術およびサービスが日々変化していくので、正確な情報収集が重要である。
- 授業改善のための勉強会や生成AIの活用についての研究を行なっている。
- 日々情報技術が進歩する中で、新技術の学校現場への導入、活用等について勉強したい
- 生成AIの授業への活用と学生の利用状況
生成AIの倫理的利用を高めるために全学生にAIリテラシー教育を実施し、正しく使用できように指導を実施
- 学校、教育業務への活用状況
自動化による業務の省力化や校務業務の効率化を進めるために校務DXを学園で取り組みを実施
- 抱えている問題や課題
ハルシネーションに対するファクトチェック、入力する情報に関する情報の漏洩
- 生成AI活用時のリテラシー、ファクトチェック

学校評価（自己評価・学校関係者評価・第三者評価）及び情報公開について、抱えている問題・課題等がございましたらご記入ください。

- 第三者評価はお願いできる場所がない
- 自己点検自己評価の実施方法と活用方法がうまくいっていない。第三者評価への準備ができていない
- 公開するための資料作りが大変だが実際問題として募集対象となる学生層・保護者層には見られていない（サイトのクチコミなどの方がよほど見られている）公開情報を出すことまでが法的義務のための目的化しており、学生獲得に繋がる効果が全く期待できない
- 第三者評価を受けるための学内体制
- 専門学校への第三者評価（外部評価）の導入が教育の質の向上などを目的として導入されるようですが、あまりに負担が大きすぎるにも関わらず経常費助成などがない為、一律導入には疑問が残ります。
- 既に取り組んでいるので大きな課題はないが、担当者の負荷が大きいことが懸念される。
- 今後の法改正に伴う、早めの準備・対応
- 医療系国家資格を取得する過程については、教育課程が各資格の養成施設指定規則に定められており、各評価の結果を即時反映することが困難となっている。
- 新しい学校のためしっかり公開できる実績を作っていきたい。
- 学校評価の進め方（何から始めるべきか）

教育DX、教育のICT化について、現在の取組状況、抱えている問題や課題等がございましたらご記入ください。

- 職員の取り組み姿勢、（必要だと感じていない職員が多い）
- Google Classroomを活用している。
- GoogleWorkspace、Monoxerを活用中の他、ヨリソルを検討中。教員の啓蒙と研修が課題
- 設備導入費の高騰、ICT化に伴うカリキュラムの再編
- 生産性向上
- 教材のICT対応が未整備であり、デジタル教材やLMSに対応した教科書・資料が不足している。また、カリキュラム設計が難しく、ICTを前提とした授業デザインや学習評価のノウハウが不足している。
- 様々なデジタル化は進んでいるが、それによる新たな事業の開始や変化（DX）に繋がっているとは言えない。
- 効率よく低コスト・低人的負担でのさらなる導入について
- ・教育DX、ICT化の取り組み状況
学生へのデジタルツールの導入（Microsoft365Teams）、 教育ダッシュボードの導入
- ・抱えている問題
データ管理や保護に関するセキュリティ問題、ITリテラシーの職員間の格差、DX化、ICT化のためのデジタル機器導入によるコスト
- 教職員のAI活用レベルの底上げ

前述の他に、現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたら ご記入ください。（どんな些細なことでも結構です。）

・ 少子化、東京への情報化関係の学生の流出（東京のほうが質が高い、金額も高いが）

・ 教員の新規採用が難しくなってきている。

・ 教員募集の方法、教員募集広告予算の考え方、採用面接の評価方法

所在県では通信制高校が多く、対コミュニケーション力が低い学生の入学生が増えてきている傾向。職業教育と合わせて、キャリア教育（社会人能力）の幅が年々広がってきている。

・ 学校法人格を持たない学校の台頭が脅威です。私学法に縛られず、場所も関係なしに派手な広告を打って学生を集める手法にどうしても高校生がなびきがちで学校法人としての学位の問題等が特に学生層に訴求しても届きにくい感覚を受けます。

・ 他校を見学するようなイベントや交流の機会があると、若手の教職員には刺激になるかと思いますので、御検討頂けると助かります。